

# 乙事区役所所蔵の仏像見学

## J A 信州諏訪女性部が散策

乙事区役所に所蔵されている仏像を見学するJ A 信州諏訪女性部富士見町ブロックのメンバー



J A 信州諏訪女性部富士見町ブロック（小林和佐ブロック長）は9日、乙事諏訪社周辺を散策した。部員15人が参加し、乙事区文化財保護委員会の五味克弘委員長の案内で、乙事区役所に所蔵される仏像や新しくなった乙事諏訪社の帳納屋などを見て回った。

同区役所には、上社如法の末寺となった乙事村の法隆寺に由来する仏像などが所蔵されている。五味委員長は、悟りを開いた如来と悟りを求め

大日如来像や不動明王座像などについて説明した。

江戸時代後期の仏教行者で仏像彫刻者の木喰上人作の普賢菩薩像にも触れ、表情から微笑仏とも呼ばれていると紹介。下から眺めると優しい表情がよく分かると話すと、参加者はのぞき込むようにじっと見詰めて確かめていた。

副ブロック長の小林忍さん  
高森は「地元のことも知らないことは多い。近くにすごい仏像があることを知って勉強になった。活動も増や